

あかつき



写真：音止の滝（撮影 T.T）

スポット

- ・ 令和7年度事業計画
- ・ 令和6年度事業報告
- ・ 事業所近況報告
- ・ 新人紹介
- ・ 研修報告

第89号 2025年9月11日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平1-64-1

☎042-560-7840

<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

社会福祉法人あかつきコロニー理念

共に働く 共に生きる 共に創る

基本方針

1. ご利用者の意志と人格を尊重し、働く場の提供と就労支援を行うことによって、社会参加と自立を促進します。
2. ご利用者、職員ひとりひとりの職業技術の向上に務め、仕事の質を高い水準で保ちます。
3. 同じ目的を持つ地域の団体や施設と連携・協力し合いながら、障害者の就労や生活支援に取り組み、拠点的功能を果たします。
4. 「働く場を自ら切り拓く」という創設の理念を受け継ぎ、より良い未来を築くため、新しい事業に挑戦し続けます。
5. ご利用者、ご家族、職員など、法人にかかわる全ての人々にとって、安心と連帯感を提供します。

令和7年度事業計画

今年度は法人施設の建替えに伴い、建替え完了までの間は仮移転先での事業運営となる。これまで法人本部を含め1ヶ所にまとまっていた武蔵村山市内の5つの拠点、が4ヶ所に分散することになるが、これにより運営に不具合が生じないように努めていきたい。

今年度10月より就労選択支援事業が開始されるが、環境が変化する中で新たな取り組みを増やしていくことは当然事業所にとっても従業員にとっても負荷が増すことになるため、実施については状況をみながら検討することとする。

瑞穂町より指定を受けて運営している瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみの障害児等タイムケア事業の廃止が昨年末に決まったことを受け、今年度中に利用者の移行を進めていく必要がある。今年度は5年間の指定管理期間の最終年度にあたるが、次年度以降の動きについても瑞穂町と協議を進めていくことになる。

【福祉事業活動】

法人施設の建替え、瑞穂町心身障害者(児)福祉センターのタイムケア廃止、これに伴う新たな事業展開に向け大きな動きがあり、今年度は変化の年、否、変化に向けた準備の年と言えるかもしれない。

法人施設の建替えにより今後大きな出費が続く厳しい運営状況

法人施設建替え後は生活介護事業と就労移行支援事業を実施する予定である。これ等も踏まえ、建替え後の組織体制の見直しを進める。

法人施設の建替えにより今後大きな出費が続く厳しい運営状況

強いられることになる。一方で建替えの間は仮設作業場で事業を行うことになる。環境変化による影響は避けられないが、移転による運営や支援への影響を最小限に抑える様留意して事業継続を行う。利用率の確保とともに無駄な支出を極力抑えていく。

職員の資質向上への取組みとして、人事考課を通じて個々の目標や役割を確認し職員のキャリアアップを図る。業務やキャリアに応じた研修の受講、支援に求められる知識や技術に関する研修の実施、職員の福祉専門資格取得支援を実施する。各職員が業務でその能力を発揮できるよう法人の定めた基本方針に従いハラスメント防止に取り組んでいく。ハラスメントアンケート調査の実施、ハラスメント相談窓口担当の資質向上を図る。

委員会を開催する。

感染症や自然災害発生時に於ける事業継続のための対策を講じる。感染症、自然災害の各対策委員会にてBCPマニュアルの検証を行うと共にマニュアルに基づいた訓練及び研修を実施する。

【就労支援事業活動】

就労継続支援B型事業に於ける就労支援事業は、利用者の業務及び工賃の維持・向上の為、事業の受注増や新規事業の獲得に努めていく。武蔵村山市との委託契約である紙おむつ給付事業を引き続き実施する。どの作業も丁寧で確実な仕事を心掛けていく。

B型における目標平均工賃をあかつき授産所45,000円、スパース・まどか31,000円、瑞穂町福祉作業所21,000円とする。

併せて、就労支援事業を通して就業スキルと就労意欲の向上を図り、一般就労希望者に対して、関係機関等と連携を図り就労支援を行う。また、一般就労をした者へ定着支援を実施する。

【指定管理事業】

今年度より、最初の受託から4期目に入った就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所は、ますます進む利用者や利用者ご家族の高齢化による課題へ対応することと、生活の充実が図れるよう支援を行う。

今年度末で指定管理期間終了となる瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみでは障害児等タイムケアの閉鎖も決まった。タイムケア利用児童の他事業所への引継ぎを行いながら最後まで責任を持って支援を行う。地域活動支援センターでは、介助を伴う重度の障がいがあっても生産活動に参加できるように体制作りと生産活動の幅を広げ、社会参加への機会を増やしていく。

【地域生活】

コロナ相談支援センターでは、障害福祉サービスの利用を希望する利用者の地域生活に向けたニーズの把握と課題を整理した上で、ご本人の意思決定を支援し、ご本人の意思を尊重ながら適切なサービスに繋げていく。

武蔵村山市、瑞穂町よりそれぞれ

令和7年度あかつきコロニー予算書					
(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31 日					
法人全体					
(単位：千円)					
		勘 定 科 目	本年度予算	前年度予算	差異
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	74,750	76,070	△ 1,320
		障害福祉サービス等事業収入	348,599	351,572	△ 2,973
		生活保護事業収入	600	600	0
		その他の事業収入	960	5,580	△ 4,620
		借入金利息補助金収入	0	0	0
		経常経費寄附金収入	260	280	△ 20
		受取利息配当金収入	14	14	0
		その他の収入	97	13,316	△ 13,219
	事業活動収入計 (1)		425,280	447,432	△ 22,152
	支出	人件費支出	277,216	265,546	11,670
		事業費支出	37,501	35,755	1,746
		事務費支出	61,866	60,184	1,682
		就労支援事業支出	74,750	76,070	△ 1,320
		支払利息支出	0	0	0
その他の支出		0	112	△ 112	
事業活動支出計 (2)		451,333	437,667	13,666	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△ 26,053	9,765	△ 35,818	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	6,000	300	5,700
		設備資金借入金収入	116,000	0	116,000
		その他の施設整備等による収入	0	0	0
		施設整備等収入計 (4)		122,000	300
	支出	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0
		固定資産取得支出	102,750	32,627	70,123
		その他の施設整備等による支出	0	730	△ 730
		施設整備等支出計 (5)		102,750	33,357
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		19,250	△ 33,057	52,307	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	8,810	35,800	△ 26,990
		拠点区分間長期借入金収入		0	0
		拠点区分間繰入金収入	9,854	41,466	△ 31,612
		サービス区分間繰入金収入	0	4,088	△ 4,088
		その他の活動による収入計 (7)		18,664	81,354
	支出	積立資産支出	0	19,810	△ 19,810
		拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0
		拠点区分間繰入金支出	9,854	41,311	△ 31,457
		サービス区分間繰入金支出	0	4,088	△ 4,088
		その他の活動による支出計 (8)		9,854	65,209
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		8,810	16,145	△ 7,335
	予備費支出 (10)		2,007	6,121	△ 4,114
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		0	△ 13,268	13,268	
前期末支払資金残高 (12)		0		0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		0	△ 13,268	13,268	

れ委託されている障害者就労支援センターでは、就労を希望する障がい者に対して必要な支援を行う。就労に向け様々な機会を設け、就職に繋がると同時に就労定着に力を入れる。

また、地域貢献事業として、地域交流会を実施する他、瑞穂町に於いては社会福祉協議会と連携し、相談支援の窓口を開設していく。地域のお祭りやイベントにも参加する。

【地域福祉】

地域の障がい者福祉の向上に尽力していく。自立支援協議会や障害支援区分審査会へ委員を派遣するとともに、自立支援協議会の各

令和6年度事業報告

法人施設の建屋建替えに向け、前年度より具体的に準備を進めてきた結果、7月に施設整備補助事業の申請認可が下りた。しかし、急激な物価や人件費高騰のありをまともに受け、入札は不調となり、当初建築設計の大幅な見直しを迫られた。年度も差し迫った3月の再入札で請負業者が決まり、何とか年度内に仮設作業所の改修工事に着手することができた。

町の指定管理で運営している瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみの障害児等タイムケア事業の廃止が年末の町議会で決定した。これを受け、年明けには職員及び保護者向け説明会を実施した。

令和6年元旦に発生した能登半島地震による被害は甚大で今なお復興途上にある。震災後に被災障がい者の支援のためにJDF能登支援センターが開設され、そこへ

資金収支計算書					
(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日					
(単位：円)					
勘定科目			予算	決算	差異
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	76,070,000	69,873,548	6,196,452
		障害福祉サービス等事業収入	351,572,000	352,804,137	△ 10,4401,232,137
		生活保護事業収入	600,000	607,580	△ 7,580
		その他の事業収入	5,580,000	5,219,700	360,300
		経常経費寄附金収入	280,000	339,113	△ 59,113
		受取利息配当金収入	14,000	72,674	△ 58,674
		その他の収入	13,316,000	13,219,183	96,817
		事業活動収入計 (1)	447,432,000	442,135,935	5,296,065
	支出	人件費支出	265,546,000	262,897,587	2,648,413
		事業費支出	35,755,000	30,989,431	4,765,569
		事務費支出	60,184,000	54,851,463	5,332,537
		就労支援事業支出	76,070,000	70,925,915	5,144,085
		その他の支出	112,000	119,711	△ 7,711
		事業活動支出計 (2)	437,667,000	419,784,107	17,882,893
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		9,765,000	22,351,828	△ 12,586,828	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	300,000	300,000	
		施設整備等収入計 (4)	300,000	300,000	
	支出	固定資産取得支出	32,627,000	32,627,100	△ 100
		その他の施設整備等による支出	730,000	729,600	400
		施設整備等支出計 (5)	33,357,000	33,356,700	300
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 33,057,000	-33,056,700	△ 300
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	35,800,000	35,800,000	
		その他の活動収入計 (7)	35,800,000	35,800,000	
	支出	積立資産支出	19,810,000	19,810,000	
		その他の活動支出計 (8)	19,810,000	19,810,000	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		15,990,000	15,990,000	
	予備費支出 (10)		6,121,000		6,121,000
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 13,423,000	5,285,128	△ 18,708,128	
前期末支払資金残高 (12)				116,181,995	△ 116,181,995
当期末支払資金残高 (11) + (12)			△ 13,423,000	121,467,123	△ 134,890,123

職員1名を派遣した。

職員人財確保は年々厳しさを増している。退職した職員の補充が進まず各職員の業務負担が増す状況が長期間解消されない中で、支援に影響が出ないよう努めた。人手不足は何処の業界でも直面している課題であるが、直接対人支援を行う福祉分野ではとりわけ深刻といえる。当法人も、今後の事業展開を図る上で、人財確保・育成・定着に一層力を入れていく必要があると認識している。

【福祉事業活動】

8月に施設整備補助の内示が降り、入札に向け準備を進めると同時に福祉医療機構への借入の申請を行った。最初の入札が不調に終わったことにより、計画は大幅に遅れ、年度内の事業所仮移転は出来なかったものの、3月の再入札で工事請負事業者と契約締結することができ、仮設作業所の改修工事に着手した。

無駄な支出がないよう経費削減に取り組み、請求業務では取りこぼしがないよう注意を払った。法人全体としての新規利用者数は、

6名となったが年度初めから年度末の増減状況は△4名であった。報酬改定による収益性はあがった一方で、利用率を上げることは難しかった。新規利用者の受け入れが思う程には進まなかったほか、利用者の高齢化や障がい特性による不安定さが利用率に影響している。

就労継続支援B型あかつき授産所及びスペース・まどかに於いて第三者評価を実施した。

正規職員に対し人事考課を実施し、個々の職員の役割を確認し職業人としての意識、資質の向上を図った。9月に「仕事に対する姿勢」をテーマとした研修会を実施した。その他に全職員を対象に動画配信による短時間研修の視聴を毎月課しており、進捗状況に差はあるものの概ね受講できていた。1名の職員に社会福祉主事任用資格取得に向けた資格認定通信課程の受講支援を行った。

ハラスメントに関する直接の相談や報告は上がらなかった一方で、下半期に実施した実態調査では、ハラスメントを受けたが相談に至らず内に収めているケースが窺え

事業活動計算書					
(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日					
(単位：円)					
勘定科目			当年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	69,873,548	73,930,768	△ 4,057,220
		障害福祉サービス等事業収益	352,804,137	322,745,775	30,058,362
		生活保護事業収益	607,580	648,020	△ 40,440
		その他の事業収益	5,219,700		5,219,700
		経常経費寄附金収益	339,113	278,973	60,140
		サービス活動収益計 (1)	428,844,078	397,603,536	31,240,542
	費用	人件費	262,214,587	257,671,949	4,542,638
		事業費	30,989,431	28,617,283	2,372,148
		事務費	55,018,663	24,587,911	30,430,752
		就労支援事業費用	71,690,421	75,636,513	△ 3,946,092
		減価償却費	10,086,855	9,947,762	139,093
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,920,049	△ 4,929,827	9,778
サービス活動費用計 (2)		425,079,908	391,531,591	33,548,317	
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)		3,764,170	6,071,945	△ 2,307,775	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益		5,304	-5,304
		受取利息配当金収益	74,177	2,565	71,612
		その他のサービス活動外収益	13,219,183	391,732	12,827,451
		サービス活動外収益計 (4)	13,293,360	399,601	12,893,759
	費用	支払利息		4,071	△ 4,071
		その他のサービス活動外費用	119,711	118,888	823
		サービス活動外費用計 (5)	119,711	122,959	△ 3,248
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)		13,173,649	276,642	12,897,007	
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		16,937,819	6,348,587	10,589,232	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	300,000		300,000
		拠点区分間固定資産移管収益		280,326	△ 280,326
		特別収益計 (8)	300,000	280,326	19,674
	費用	固定資産売却損・処分損	1	3	-2
		拠点区分間固定資産移管費用		280,326	△ 280,326
		特別費用計 (9)	1	280,329	△ 280,328
	特別増減差額 (10) = (8) - (9)		299,999	-3	300,002
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		17,237,818	6,348,584	10,889,234	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		55,504,347	54,984,885	519,462
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)		72,742,165	61,333,469	11,408,696
	基本金取崩額 (14)			3,760,878	△ 3,760,878
	その他の積立金取崩額 (15)		35,800,000		35,800,000
	その他の積立金積立額 (16)		19,811,503	9,590,000	10,221,503
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)		88,730,662	55,504,347	33,226,315

たことから相談し易い窓口の有り方について次年度課題として取り組むこととした。

虐待の予防、虐待を見逃さないよう、全職員を対象とした虐待防止チェックを実施し、結果を虐待防止マネジャー会議内で共有、分析と対応の検討を行い各現場へ降ろしていった。虐待防止マネジャー会議を3回、虐待防止委員会を2回、身体拘束適正化検討委員会を3回実施した。また、外部虐待防止研修の受講と受講者による伝達研修を行った。

視聴型研修を利用して感染症、自然災害をテーマとした研修を実施した。自然災害時におけるBCPに則り、震災発生時模擬訓練を実施し、避難時の問題点等検証を行った。併せてBCPマニュアルの見直しを行った。

【就労支援事業活動】
取引先からの信用・信頼を失わないよう丁寧で確実な仕事を心掛けた。新たな事業の獲得はなかったが、受注減となった作業については他の作業で補填できるよう業務獲得に努め、原料の値上

げに伴う単価交渉の結果、増収に繋げることが出来た。各事業所の平均工賃はあかつき授産所が目標準35,000円に対して37,438円、スペース・まどかは目標額25,300円に対して30,338円、瑞穂町福祉作業所は目標額20,000円に対して20,716円となり、各事業所共に目標工賃を達成する事が出来た。

一般就労希望者に対して就労支援を行った。あかつき授産所で2名、スペース・まどかで1名の一般就労者を出すことができた。併せて、一般就労をした者へ定着支援を行ったが、利用期間中の離職者は1名だった。

【指定管理事業】
瑞穂町福祉作業所は、利用者が慣れた環境で安心して利用できるように次期指定管理公募に応募し、引き続き5年間の指定管理契約を締結した。また、昼食費負担軽減のために給食サービスの提供を開始した。リスク対応を視野に入れた支援体制作りを行った。

瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみは、地域活動支援セン

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	159,347,361	155,877,795	3,469,566	流動負債	47,593,637	50,317,682	△2,724,045
現金預金	113,651,234	114,613,423	△962,189	事業未払金	11,612,066	13,597,023	△1,984,957
事業未収金	6,674,254	7,732,603	△1,058,349	その他の未払金	23,854,112	20,709,067	3,145,045
未収金	36,633,448	31,442,621	5,190,827	預り金	92,000	3,630,390	△3,538,390
商品・製品	1,305,524	673,270	632,254	職員預り金	515,459	178,202	337,257
原材料	501,077	907,848	△406,771	賞与引当金	11,520,000	12,203,000	△683,000
立替金	521,824	478,030	43,794	負債の部合計	47,593,637	50,317,682	△2,724,045
仮払金	60,000	30,000	30,000	純 資 産 の 部			
固定資産	272,450,712	266,326,554	6,124,158	基本金	152,417,730	152,417,730	
基本財産	174,107,605	180,909,057	△6,801,452	基本金	152,417,730	152,417,730	
土地	92,920,862	92,920,862		国庫補助金等特別積立金	93,162,793	98,082,842	△4,920,049
建物	80,886,743	87,688,195	△6,801,452	国庫補助金等特別積立金	93,162,793	98,082,842	△4,920,049
基本特定積立資産	300,000	300,000		その他の積立金	49,893,251	65,881,748	△15,988,497
その他の固定資産	98,343,107	85,417,497	12,925,610	備品購入積立金	10,184,337	10,184,337	
構築物	2	2		修繕積立預金	10,338,886	27,838,886	△17,500,000
機械及び装置	3,302,989	4,017,290	△714,301	人件費積立金	2,468,525	2,468,525	
車輛運搬具	380,072	560,693	△180,621	施設整備積立金	13,700,000	17,000,000	△3,300,000
器具及び備品	2,474,377	3,006,136	△531,759	工賃変動積立資産	3,700,628	2,290,000	1,410,628
建設仮勘定	38,500,000	6,600,000	31,900,000	設備等整備積立資産	9,200,875	5,800,000	3,400,875
権利	177,714	177,714		基本特定積立金	300,000	300,000	
ソフトウェア	934,422	3,056,034	△2,121,612	次期繰越活動増減差額	88,730,662	55,504,347	33,226,315
備品購入積立資産	10,184,337	10,184,337		次期繰越活動増減差額	88,730,662	55,504,347	33,226,315
修繕積立資産	10,338,886	27,838,886	△17,500,000	(うち当期活動増減差額)	17,237,818	6,348,584	10,889,234
人件費積立資産	2,468,525	2,468,525					
施設整備積立資産	13,700,000	17,000,000	△3,300,000				
工賃変動積立資産	3,700,628	2,290,000	1,410,628				
設備等整備積立資産	9,200,875	5,800,000	3,400,875				
差入保証金	2,636,000	2,408,000	228,000				
長期前払費用	344,280	9,880	334,400	純資産の部合計	384,204,436	371,886,667	12,317,769
資産の部合計	431,798,073	422,204,349	9,593,724	負債及び純資産の部合計	431,798,073	422,204,349	9,593,724

【地域生活】

あかつきコロニー相談支援センターでは、ご本人の意思を尊重しながら適切なサービスに繋がられるよう意識して取り組んだ。地域生活に向けたニーズの把握と課題を整理した上で関係機関と連携しながらサービス提供や調整に努めた。計画等の作成数は618件となった。

地域の障がい者就労支援を担う、武蔵村山市障害者就労支援センターとらいでは登録者数は470名となった。就職者数は42名で、そのうち21名が職場開拓によるものだった。離職者は31名となり、長年勤める中で生じたひずみにより調整困難となったケースが目立った。一方、瑞穂町障害者就労支援センターの登録者数は172

ターでは地域まつりの参加に向け自主製品制作を行ったほか、生産活動の一環としてアルミ缶潰しを実施し、これ等の売上を利用者へ分配した。障害児等タイムケアではダンスプログラム、屋外活動として食事会やボーリングを実施した。

名、就職者数は15名で前年度とはば変わらなかったが、離職者は4名で前年度から半減した。利用者の支援に障害が出ないよう努めたが、2つのセンターともに職員体制がなかなか整わず苦慮した。

【地域福祉】

自立支援協議会や障害支援区分審査会へ委員を派遣するとともに、自立支援協議会の各分会のほか、就労ネットワーク会議、精神業務連絡会、地域連携会議、社会福祉法人連絡会等の会議に参加した。また、地域貢献事業のうち、瑞穂町社会福祉協議会と連携して相談窓口設置の他にフードリレー、車椅子ステーションを実施した一方で地域子供交流会については実施を見送った。



事業所近況報告

あかつき授産所

5月29日、30日の二日間で法人本部より、4拠点への引越しが完了しました。

一課・印刷部5名と作業部2課17名の計22名は第一作業所へ、一課・印刷部9名と作業部三課13名の計22名は第二作業所に分かれての移動となりました。

作業部三課については先行して段階を追いながら引越しを行い、作業時間と作業参加人数を増やしていきながら、作業場の環境に慣れて頂きました。

第一、第二作業所ともに、作業スペースと動線の確保、席の配置、送迎体制など不安な点が多々ありましたが、配置後は想像以上に良い作業場が完成し、肩の荷がおりました。

移転先という大きな環境の変化から、約二ヶ月経過しましたが、特に要望や相談、不満などをお聞きする事がなく、今では皆さんが以前と変わらず生き生きと作業に取り組んでくれている様子が

伺えます。そんな移転時の多忙な

日々も少しずつ落ち着きを取り戻

し、7月19日には夏のレクリエー

ションを実施する事が出来ました。

外れのないビンゴ大会では、お目

当ての景品をとるため大いに盛り

上がりを見せておりました。その

後はとんで昼食をいただきました

した。当日は土用丑の日ため、鰻

のひつまぶしを選んでいる方が多

く見られたような気がします。短

い時間のレクリエーションではあ

りましたが、食事処では久しぶり

に授産所が集合したため、笑顔が

多くみられました。

約一年間、作業所は分かれてい

ますが、連携を図り良い支援を継

続していったらと思います。

(茂木 伸之)

スペース・まどか

6月より仮移転である村山団地にて事業を行なっていますが、慣れない環境の中で職員・利用者共に奮闘しています。

引越しまでに検討しなければな

らないことが色々ありました。が、中でも一番の懸念だった通所問題を解消するため、まどかでは新たに送迎を開始しました。

引越し前は、作業場が1階と

2階に分かれていましたが、村

山団地ではワンフロアになった

ことで作業がやりやすい面もあ

れば、一方で静かな環境を好む方々

にはどうなのかを考えたり、資材

を置く場所が限られていることか

ら引越し前よりも日々の整理整頓

の大切さをより強く実感したりと、

試行錯誤しながら作業場作りを進

めています。また、休憩室がない

ため、作業時間中の休憩をどこで

とってもらおうかということが大き

な課題となっています。

7月19日にはレクリエーション

を行なうことが出来ました。引越

しのドタバタ等で久しぶりの行事

となりましたが、三連休の初日と

いうことで渋滞に巻き込まれると

いうハプニングもお出かけの醍醐

味ということにしておき、おしい

い食事也十分に堪能でき、皆さん

楽しんでいただけたかと思えます。

環境の変化による心配、不安など

はどうしても出てくるものですが、

大小の様々な問題を一緒に考え工

夫しながら対応して参りたいと考

えています。建替えまでの期間、ご協力を得ながら施設運営をしていければと思っています。

(藤澤 真司)

瑞穂町福祉作業所さくら

現在、瑞穂町福祉作業所さくら(以下、さくら)には31名の利用者が登録しており、毎日27～28名の利用者が出勤し作業をしています。主な作業は箱組み立てになります。その他に、鯉節等の商品詰め、段

ボールやプラスチック版による緩衝材作成、車で使用されるゴム管

の加工、結束バンドの仮止め作成、

自主製品のアクセサリ等数多くの

作業があります。また瑞穂斎場の

清掃作業やリサイクルプラザの

ビン選別作業も行っています。

最近では社会人としての意識を

高めようという風潮がさくら内で

広まりつつあり、作業以外にも挨拶

等のビジネスマナーといった面

にも取り組んでいます。

作業以外では瑞穂町内の運動会

やお祭りに参加しています。また

年2回レクリエーションと12月には

忘年会も開催しました。

昨年度は月平均工賃が20,7

16円でしたが、今年度はさらな

る工賃向上を目指して日々取り組んでいます。職員は利用者の作業になるべく加わらず、仕事の流れをサポートするため裏方に徹しています。

さくらの利用者が自信に満ち溢れて活躍している姿を、一度見に来ていただけたらうれしいです。また本気で仕事をしたい方がさくらに加わるのも楽しみにしています。利用者、職員一同お待ちしております。

(西出 英高)

福祉センターあゆみ

あゆみの近況についてですが、地域活動支援センターにおいては、4月には近隣で桜の花見、5月にはジョイフル本田での外食、6月には地域にある保育園との交流会、そして、瑞穂町主催のふれあい運動会に参加しました。ふれあい運動会ではズームでの参加となりましたが、瑞穂町のスポーツ推進委員、更生保護女性会、福祉課職員の方々のご協力のおかげで、利用者の皆さんも楽しむことが出来ました。来年のふれあい運動会は、ズームでの参加ではなく現地会場での参加を予定しています。現地

会場においても感染予防を行ないながら、瑞穂町内の障害者団体の皆さんとも挨拶を交わし、競技を通して楽しく交流が出来たらと考えています。

また、障害児等タイムケアにおいては、昨年度末に瑞穂町より今年度末（令和8年3月末）での事業終了が決まったことを受け、今年度中で利用者皆さんには別の事業所へ移行していただくことになりました。現在、保護者様と計画相談事業所で新しく出来た放課後等デイサービス事業所等への見学、体験をおこないながら利用について検討していただいている状況です。また、タイムケアでは7月19日から8月31日までは夏休み期間になり、この期間中では夕涼みや食事会等を企画しています。

今後とも2つの事業の利用者皆さんが、あゆみ内外での活動・交流において、楽しく過ごしていただけるよう職員一同安全を期して取り組んでいきたいと思えます。

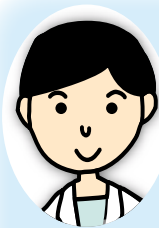
（五十嵐 崇）

新人紹介



◆私の趣味は、映画鑑賞、アニメ鬼滅の刃、一人カラオケ、ガンブラ作り。わからないこともあります。よろしくお願いします。

スペース・まどか
加藤 清乃さん



◆生まれも育ちも武蔵村山です。趣味は怪談を聞くこと。よろしくお願いします。

スペース・まどか
金子 正人さん



◆今年の1月より入社いたしました。初めての職場環境に慣れない事もありますが、皆様の優しさに支えられております。共に成長できる様、邁進いたしますので引き続き宜しくお願い致します。

スペース・まどか
下方 悟さん



◆これまでの経験を活かし少しでも皆さんのお役に立てるよう努めてまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

瑞穂町福祉センターあゆみ
久保嶋 正修さん



◆6月より非常勤として勤務させてもらっています。バイク・ゴルフ・アニメ好きの55歳。微力ではございますが、どうぞよろしくお願い致します。

スペース・まどか
岩田 潤さん



◆私の趣味は、野球観戦です。好きなチームは巨人です。映画鑑賞も好きです。わからないこともあります。よろしくお願いします。

スペース・まどか
加藤 勤さん



◆6月より職業指導員として勤務させていただいております。皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願いします。一日でも早く施設に貢献できるよう精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

あかつき授産所
野中 千春さん



◆4月より勤務しています。前職は認知症のグループホームで勤務していました。障害者福祉の仕事は初めてですが、しっかりと業務に取り組んでいきたいと思えます。これからどうぞよろしくお願い致します。

瑞穂町障害者就労支援センター
奥谷 佳実さん



◆7月1日より一緒に仕事をさせて頂けるようになりました越牟田（コシムタ）です。就労継続支援B型・生活介護の施設で立ち上げから6年間、水耕栽培、畑などの作業指導員と支援員としてご利用者の出来る作業を見出せればと従事してきました。また、B型の利用者が職に就ければと支援を行い退職するまでにお二人が職に就いてくださいました。「とらい」で経験が乏しいわたくしですが、ご利用者に喜んで頂ける支援が出来るよう頑張ります。

武蔵村山市障害者就労支援センター とらい
越牟田 昇さん



◆6月より働かせて頂いています。以前は、全く違う業種で働いていたため、未経験で右も左もわからない状況ですが、作業所の皆様と共に頑張りたいと思えます。よろしくお願いします。

瑞穂町福祉作業所 さくら
西 達彦さん

研修報告

精神保健福祉基礎研修

スペース・まどか

下方 悟

6月19日、オンライン研修『精神保健福祉基礎研修1』に参加致しました。

内容と致しましては①法制度と改訂のポイント、②不安症や自閉スペクトラム症のこと等 大きく分けて二つのテーマに関する研修となります。

①法制度と改訂の

ポイントについて

精神保険福祉法改正に伴い、医療保護入院に見直しがあり、令和

6年4月1日より入院期間の法定化、家族等が同意又は不同意の意思表示を行わない場合は市町村長同意の依頼ができる。地域援助事業者の紹介を義務化された。また措置入院については都ガイドラインが改訂され、退院後支援申込書提出の要件を緩和、標準的な計画

作成以外の選択肢を認めるようになりました。改正以前に改正前に関する知識もない為、不安な点もありましたが、実際の業務中の出来事と関連する内容がある点。そして時代の変化に適応していかなければ、支援は難しいという事について学ばせられました。

②不安症や
自閉スペクトラム症のこと等
不安症の診断基準、不安症群の種類について学び、ストレスに対する心の反応がどのようなものであるか。またうつ病、パニック障害、パーソナリティー障害、自閉スペクトラム症に関する特徴などについて学びました。現在の作業所において、多くの精神的な病を抱えている利用者様がいますので、この研修を機にさらに学びを深めて参ります。

子どもの成長に合わせた支援 〜思春期支援を中心に〜

あかつきこころ相談支援センター

増淵 明美

瑞穂町福祉部福祉課主催で、発達障がい児の支援者向けの研修に参加しました。

全3回の講座に分け(5月7日・

5月28日・7月11日)、講師深澤

光洋先生(公認心理師・元特別支援学校教員)より、「発達特性・

年齢に合わせた関わり方」「お子

さんへの声掛け」「対応方法や支援方法の紹介」「将来のために今

出来る事、知っておきたい進路の事」「家庭・学校との連携について」

「事例検討」の内容で、お話しをして頂きました。

研修の中で「ペアレント・トレーニング(略ペアトレ)」の話がありました。

ペアトレは、発達障がいや知的障がいを持つお子さんのご家族が、適切なかわり方や支援方法を身につけるために生まれたプログラムです。子どもが変わる事を求め

るのではなく、先に親自身が変わる事で、子どもの変化を促していくということです。

ペアトレでは【行動】を3つに分けます。

【好ましい行動】【好ましくない行動】【危険な・許しがたい行動】に分類し、それぞれの行動に対して適切な対処方法を教えて頂きました。

ペアトレのプログラムはご家族に限定しているわけではなく、私たち支援者にも直ぐに実践できる支援方法です。

厚生労働省が発表している令和4年の調査結果によると、医師より「発達障害」と診断されたのは推計値872千人とも言われています。約10人に1人が発達障害と診断されている事になります。

年々、発達障害の人が増加傾向にあります。発達障害の人が増加傾向にある一方で、それは、「発達障害」の理解が高まったとも考えられ、環境改善や配慮がされつつありますが、まだまだ足りない点もあるため、より理解が必要と感じます。

最終日には事例検討を元にどのような支援が望ましいかお話しをして頂きました。放課後等デイ

サービスや学童のリアルな事例内容でしたが、どの事例にも深澤先生が【ルール化にする・ルールを守る】【ルールを守る練習をしていかないといけない】【支援者達の一貫した対応】が必要と説明がありました。私自身、「サービス等利用計画書」によく「事業所のルールを守りましょう」と書く事

があります。果たして事業所やご家庭のルールを理解しているう

えで書いているのかと思うと、理解には至っていないのが現実です。今後は、事業所や家庭の【ルール】

も掘り下げたうえで、一人ひとりに沿った計画を立てていこうと思

いました。

発達障がいを勉強するつもりで最初は参加しましたが、最終的には自分自身を見つめ直す良い機会になったと感じています。

今回の研修内容は実践でも活用できる内容となっているため、計画相談事業所内で伝達講習の時間を設け、相談支援センターのスキルアップを図っていききたいと思います。

主 な 事 柄

1月	新年会 (法人施設)	4月	あゆみ地震避難訓練	25	評議員会・理事会 建築事務所打合せ	30	意思決定支援学習会 (神山・増渕)	3月	HW青梅雇用連絡会(利根川)
6	市長挨拶	23	あゆみ地震避難訓練	30	ソーシャルスキルアップ研修 (防災) 開催 (とらい)	31	多摩連絡会議 (富田)	7	精神業務連絡会 (藤澤・富田)
7	建築事務所打合せ	(タイムケア)		7月	法人施設夏レク	2月	西多摩地域勉強会 (富田)	9	主事資格認定スクーリング (齋藤 11日迄)
9	タイムケア説明会 (あゆみ)	24	あゆみ保護者会 (地活)	19		3	地域開拓NW会議 (利根川)	13	ゼンコロ理事会・総会 (高橋)
15	さくら地震避難訓練	25	さくら消防設備点検	9	初任者研修ファシリテーター (神山 10日迄)	7	地域連携会議 (富田)	17	瑞穂町自立支援協議会 (利根川)
23	とらい防災訓練	29	あゆみ床清掃	10	精神業務連絡会 (藤澤・富田)	13	社会福祉法人連絡会全体会 (五十嵐・戸村)	14	けるん西多摩勉強会 (富田)
30	理事会 (決議の省略)	30	あゆみ地震避難訓練 (地活)	16	能登支援報告会 (松木)	5	羽村特支運営連絡協議会 (西出)	17	多摩連絡会議 (富田)
2月	建築事務所打合せ	5月	研修委員会	17	就労選択支援事業勉強会 (利根川)	14	報酬改定研修会 (藤澤)	18	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山・増渕)
3	法人施設エレベータ点検	18	さくら床清掃	18	工賃アップセミナー (茂木)	17	ゼンコロ月例会 (遠藤)	24	就労選択支援説明会 (戸村・西出・佐渡・金子)
10	さくら自動ドア修繕	21	仮施設完了検査	20	ゼンコロ月例会 (遠藤)	18	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山・増渕)	26	権利擁護事例検討会 (富田)
18	法人施設火災避難訓練	26	監事監査	20	就労選択支援意見交換会 (高橋・戸村・西出・遠藤)	19	工賃アップセミナー (佐渡)	27	就労ネット (鈴木・田中隆)
27	あゆみ地震避難訓練	29	ソーシャルスキルアップ研修 (ネット詐欺) 開催 (とらい)	21	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山・増渕)	20	瑞穂町就労部会 (利根川)	28	地域保健福祉審議会(五十嵐)
4	仮移転団地商店会説明会	29・30	法人施設引越し	22	武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)	26	武蔵村山市就労支援部会勉強会 (富田・鈴木・細川)	4月	精神業務連絡会 (富田)
6	虐待防止マネジャー会議	30	あゆみ地震避難訓練	23	就労ネット (鈴木・田中隆)	27	就労ネット (鈴木・田中隆)	11	ゼンコロ月例会 (遠藤)
8	仮設工事入札会	6月		27	瑞穂町計画相談連絡会(増渕)	27	就労ネット (鈴木・田中隆)	14	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)
9	理事会 (決議の省略)	2	解体工事打合せ	29	強度行動障害研修 (増渕)	27	就労ネット (鈴木・田中隆)	15	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)
11	あゆみ消防設備点検	3	仮施設消防点検	29	けるん情報交換会 (富田)	27	就労ネット (鈴木・田中隆)		
13	BCP感染対策委員会	8	あゆみ床清掃						
14	虐待防止・身体拘束適正化検	9	理事会						
24	討委員会	15	評議員選任・解任委員会						
	新築工事入札会		瑞穂町ふれあい運動会 (あゆみ地活・さくら)						
	さくら火災避難訓練								

出張・研修

17	相談支援部会検討会 (神山)	21	ゼンコロ運営委員会 (遠藤 22日迄)	24	就労ネット (鈴木・田中隆)	22	西多摩勉強会 (富田)	5月	2	武蔵村山市自立支援協議会部会長会議 (高橋・富田)	7	発達障害児研修 (増測)	9	精神業務連絡会(藤澤・富田)	13	瑞穂町計画相談連絡会(増測)	14	武蔵村山市就労支援部会 (富田・茂木・神山)	15	就労ネット (利根川・奥谷)	19	WJ理事会 (高橋)	20	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山・富田)	21	武蔵村山市自立支援協議会 (高橋・富田)	28	発達障害児研修 (増測)	30	地域保健福祉審議会(五十嵐)	6月	13	地域連携会議 (藤澤・富田)	17	武蔵村山市地域相談支援部会 (神山)	18	武蔵村山市自立支援協議会部会長会議 (高橋・富田)	19	精神保健福祉基礎研修(下方)	24	お伊勢の森運営協議会(藤澤)	26	就労ネット (鈴木)	30	HW青梅雇用連絡会(利根川)	27	ゼンコロ理事会・総会(高橋)	30	地域つながり推進連絡会 (戸村)	4月	野中 千春 (授産所)	6月	岩田 潤 (まどか)	7月	越牟田 昇 (とらい)	久保嶋正修 (あゆみ)	1月	福田 弥也 (授産所)	2月	先久 周子 (とらい)	3月	浅井 俊夫 (まどか)	4月	中村 敬子 (瑞穂就労)	長倉 直希 (まどか)	金子 海夏 (さくら)	宮岡 由雄 (あゆみ)	木村 正則 (あゆみ)	4月	長倉 直希 (まどか)	金子 海夏 (さくら)	宮岡 由雄 (あゆみ)	木村 正則 (あゆみ)	4月	長倉 直希 (まどか)	金子 海夏 (さくら)	宮岡 由雄 (あゆみ)	木村 正則 (あゆみ)
----	----------------	----	---------------------	----	----------------	----	-------------	----	---	---------------------------	---	--------------	---	----------------	----	----------------	----	------------------------	----	----------------	----	------------	----	-----------------------	----	----------------------	----	--------------	----	----------------	----	----	----------------	----	--------------------	----	---------------------------	----	----------------	----	----------------	----	------------	----	----------------	----	----------------	----	------------------	----	-------------	----	------------	----	-------------	-------------	----	-------------	----	-------------	----	-------------	----	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	----	-------------	-------------	-------------	-------------	----	-------------	-------------	-------------	-------------

入所・退所

入所

退所

寄贈

5月21日、近藤高美子様より
参萬円のご寄付を頂きました。
謹んで御礼申し上げます。

訃報

あかつき授産所の
武士 雄一さんが
五月二十九日に
お亡くなりになりました
謹んでご冥福を
お祈り申し上げます
あかつき授産所の
長田 明さんが
七月二十日に
お亡くなりになりました
謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

役員・評議員

理事

理事長 鈴木 賢一

常務理事 高橋 毅

熊谷 昌博

永井 眞

五十嵐 崇

戸村 仁郎

監事

岩瀬 成朋

鈴木 智也

評議員

浅川 勤

栗原 康明

岩瀬 香世

古賀 博紀

田中 海之

登坂 正美

三田村達弥